

授 業 時 間 割 学 士 編 入 3 年 前 期

平成18年4月3日～平成18年9月23日

月	日	月				日	火				日	水				日	木				日	金				日	土																																	
		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4																														
		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$		8:50 \$	10:30 \$	13:00 \$	14:40 \$																														
		10:20	12:00	14:30	16:10	10:20	12:00	14:30	16:10	10:20	12:00	14:30	16:10	10:20	12:00	14:30	16:10	10:20	12:00	14:30	16:10	10:20	12:00	14:30	16:10	10:20	12:00	14:30	16:10																															
4	3	病理総論系		免疫系		4	病理総論系		5	分子病態系	感染系	人体構造系Ⅱ		6	T薬理系	環境因子系	人体構造系Ⅱ		7	入学式		8	T発生組織系																																					
	10																			14	T内臓機能・体液系						腫瘍系	人体構造系Ⅱ																																
	17																												21	人体構造系Ⅱ																														
	24																														28																													
5	1	病理各論系		2	病理各論系		3	憲法記念日		4	国民の休日		5	こどもの日		6	T薬理系		T生体分子系		T薬理系																																							
	8	16	病理各論系					10	感染系		人体構造系Ⅱ	11		T薬理系	環境因子系								12	腫瘍系	人体構造系Ⅱ	13	T内臓機能・体液系	分子病態系	人体構造系Ⅱ	14	T薬理系	腫瘍系	15	T生体分子系																										
	15																																		23	感染系	24	感染系	人体構造系Ⅱ	25	T薬理系	環境因子系	26	腫瘍系	人体構造系Ⅱ	27	T薬理系	腫瘍系	28	T薬理系	腫瘍系	29								
	22																																																				30	開学記念日休業		1	2	3		
29	6	病理各論系		7	病理各論系		8	T薬理系	環境因子系	9	腫瘍系	人体構造系Ⅱ	10	T内臓機能・体液系	分子病態系	人体構造系Ⅱ	11	T薬理系	腫瘍系	12	T生体分子系																																							
5	13																					病理各論系	14	腫瘍系	人体構造系Ⅱ	15	T薬理系	環境因子系	16	腫瘍系	人体構造系Ⅱ	17	T内臓機能・体液系	分子病態系	人体構造系Ⅱ	18	T薬理系	腫瘍系	19	T生体分子系																				
12																																									20	病理各論系	21	腫瘍系	人体構造系Ⅱ	22	T薬理系	環境因子系	23	腫瘍系	人体構造系Ⅱ	24	T内臓機能・体液系	分子病態系	人体構造系Ⅱ	25	T薬理系	腫瘍系	26	T生体分子系
19																																																												
7	3	海の日		4	試験期間		5	分子病態系	感染系	6	人体構造系Ⅱ		7	T薬理系	環境因子系	薬理系(T)環境因子実習		8	T薬理系	腫瘍系	9	T生体分子系																																						
	10																						18	試験期間	19	試験期間	20	試験期間	21	T薬理系	腫瘍系	22	T生体分子系																											
	17																																	24	T分子病態系	T遺伝系	25	T分子病態系	T遺伝系	26	T分子病態系	T遺伝系	27	T分子病態系	T遺伝系	28	T遺伝系	試験期間	29											
8	31	T医と社会		1	T医と社会		2	夏季休業		3	夏季休業		4	夏季休業		5	夏季休業		6	夏季休業		7	夏季休業																																					
	7	8	夏季休業		9	夏季休業																			10	夏季休業	11	夏季休業	12	夏季休業																														
	14																														15	夏季休業	16	夏季休業	17	夏季休業	18	夏季休業	19	夏季休業																				
	21																																								22	夏季休業	23	夏季休業	24	夏季休業	25	夏季休業	26	夏季休業										
	28																																																		29	夏季休業	30	夏季休業	31	夏季休業	1	夏季休業	2	夏季休業
	4																																																											
9	4	試験期間		12	試験期間		13	試験期間		14	試験期間		15	試験期間		16	試験期間		17	試験期間		18	試験期間																																					
	11	19	試験期間		20	試験期間																			21	試験期間	22	試験期間	23																															
	18																													敬老の日																														

※ 試験期間：7月18日、19日・20日(午前)、28日(午後)
9月11日～22日

■ は2年次生対象授業を表す。 ■ はチュートリアル授業を表す。

授 業 時 間 割 3年次編入学3年後期

平成18年9月25日～平成19年3月31日

月	日	月				日	火				日	水				日	木				日	金																
		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4													
		8:50 ↓ 10:20	10:30 ↓ 12:00	13:00 ↓ 14:30	14:40 ↓ 16:10		8:50 ↓ 10:20	10:30 ↓ 12:00	13:00 ↓ 14:30	14:40 ↓ 16:10		8:50 ↓ 10:20	10:30 ↓ 12:00	13:00 ↓ 14:30	14:40 ↓ 16:10		8:50 ↓ 10:20	10:30 ↓ 12:00	13:00 ↓ 14:30	14:40 ↓ 16:10		8:50 ↓ 10:20	10:30 ↓ 12:00	13:00 ↓ 14:30	14:40 ↓ 16:10													
9	25	血液・リンパ系		呼吸器系	26	内分泌・代謝・栄養系	呼吸器系	循環器系	27	課題修習		病理各論系	28	課題修習	循環器系	29	課題修習		病理各論系	30	課題修習																	
10	2	血液・リンパ系		呼吸器系	3				4	内臓機能・体液系	動物性機能系		5	内臓機能・体液系		6	内臓機能・体液系	7		内臓機能・体液系	8	内臓機能・体液系	9	内臓機能・体液系	10	内臓機能・体液系	11	内臓機能・体液系										
	9	体育の日							10				11			12		13			14		15		16		17		18	19	20	21	22	23	24	25	26	
	16	血液・リンパ系		呼吸器系	17				18				19			20		21			22		23		24		25		26	27	28	29	30	31	1	2	3	4
	23	血液・リンパ系		呼吸器系	24				25				26			27		28			29		30		31		1		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
11	6	血液・リンパ系		呼吸器系	7				8	9	10		11	12		13	14	15		16	17	18	19	20	21	22	23	24										
	13	血液・リンパ系		呼吸器系	14				15	16	17		18	19		20	21	22		23	24	25	26	27	28	29	30	31										
	20	長大祭に伴う休業日							21	長大祭に伴う休業日				22		長大祭に伴う休業日				23	長大祭に伴う休業日				24	長大祭に伴う休業日												
12	27	血液・リンパ系		呼吸器系	28				29	30	31		1	2		3	4	5		6	7	8	9	10	11	12	13	14										
	4	血液・リンパ系		呼吸器系	5				6	7	8		9	10		11	12	13		14	15	16	17	18	19	20	21	22										
	11	試験期間				12	試験期間				13	試験期間				14	試験期間				15	試験期間																
	18	T動物性・機能系				19	T動物性・機能系				20	課題修習				21	課題修習				22	課題修習																
	25	冬季休業				26	冬季休業				27	冬季休業				28	冬季休業				29	冬季休業																
1	1	冬季休業				2	冬季休業				3	冬季休業				4	冬季休業				5	冬季休業																
	8	成人の日				9	課題修習				10	課題修習				11	課題修習				12	課題修習																
	15	T感染系				16	課題修習				17	課題修習				18	課題修習				19	課題修習																
	22	課題修習				23	課題修習				24	課題修習				25	課題修習				26	課題修習																
2	29	課題修習				30	課題修習				31	課題修習				1	課題修習				2	課題修習																
	5	課題修習				6	課題修習				7	課題修習				8	課題修習				9	課題修習																
	12	建国記念の日の振替休日				13	試験期間				14	試験期間				15	試験期間				16	試験期間																
	19	退官教授記念講演会				20	退官教授記念講演会				21	退官教授記念講演会				22	退官教授記念講演会				23	退官教授記念講演会																
3	26	試験期間				27	試験期間				28	試験期間				29	試験期間				30	試験期間																
	5	試験期間				6	試験期間				7	試験期間				8	試験期間				9	試験期間																
	12	春季休業				13	春季休業				14	春季休業				15	春季休業				16	春季休業																
	19	春季休業				20	春季休業				21	春季休業				22	春季休業				23	春季休業																
26	春季休業				27	春季休業				28	春季休業				29	春季休業				30	春季休業																	

※試験期間：12月11日～12月15日

※試験期間：2月13日～3月7日

は2年次生対象授業を表す。

はチュートリアル授業を表す。

発 生 ・ 組 織 系

責任者 小 路 武 彦
解剖学第三 (動的形態分子解析学)
内線 : 2130 E-mail:tkoji@net.

1. 教育目標・方針

医師となるに必要とされる正常人体組織学と発生学の基礎知識を修得する。それら知識と組織標本観察力は、病理組織学を始め後に続いて修得する基礎および臨床科目を十分に把握するのに必要である。よって、それら諸科目との関連性を強調しながら、近代発生学および組織学の知識のエッセンスを伝えたい。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

前期にチュートリアルとして、発生学、細胞学、組織学総論並びに各論の講義を行う。講義では、教科書の予習を前提とし、質疑・討論を中心としてすすめる。講義と平行して実習を行い、実習内容は毎回教官のチェックを受ける。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
教科書			
★標準組織学 総論	藤田尚男、藤田恒夫	医学書院	8,000 円
★標準組織学 各論	藤田尚男、藤田恒夫	医学書院	12,000 円
参考書			
The Developing Human: Clinically Oriented Embryology (6版)	K. L. Moore & T. V. N. Persuad	Saunders	8,720 円
Bloom and Fawcett: A Textbook of Histology (12版)	Don W. Fawcett 編	Chapman & Hall	7,190 円
標準細胞生物学	石川春律、近藤尚武 柴田洋三郎 編	医学書院	5,200 円
ラングマン人体発生学	T. W. SADLER	医歯薬出版	8,250 円
ムーア人体発生学	K. L. MOORE	医歯薬出版	9,500 円

4. 評価法

成績の評価は、出席と学期末に行うペーパーテストの得点に基づいて行う。なお、期末試験の受験資格として講義時間の2/3以上の出席が必要であり、これに満たない場合は自動的に失格とする。

発生学分野30点、組織学講義分野30点、組織学実習分野40点の100点満点とし、合計点が60点以上で、3分野中2分野の得点が60%以上、1分野の得点が45%以上である場合を合格とする。再試験は年度末に1回だけ行う。

5. 教員名

解剖学第三 : 小路武彦、菱川善隆、安 樹才

発生組織系授業予定（学士編入3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	8	土	1	組織学総論	細胞、上皮組織（分類、上皮細胞間の特殊分化、腺）、支持組織（結合組織、軟骨、血液、リンパ）、筋組織（平滑筋、骨格筋、心筋）の講義と実習（標準組織学 総論1～243頁）	解剖3・ 小路/菱川/ 安	ミーティング室
			2				
			3				
			4				
4	15	土	1	脈管系・リンパ性器官	毛細血管、動脈、静脈、心臓、リンパ管、リンパ節、脾臓、胸腺の講義（器官発生含む）と実習（標準組織学 各論1～70頁）	解剖3・ 小路/菱川/ 安	ミーティング室
			2				
			3	消化器系	消化管（口腔～大腸）、肝臓、胆嚢、膵臓の講義（器官発生含む）と実習（標準組織学 各論76～83、104～177、338～346頁）		
			4				
4	22	土	1	泌尿器系	腎臓、尿管、膀胱、尿道の講義（器官発生含む）と実習（標準組織学 各論200～229頁）	解剖3・ 小路/菱川/ 安	ミーティング室
			2				
			3	呼吸器系	鼻腔、喉頭、気管、肺の講義（器官発生含む）と実習（標準組織学 各論178～199頁）		
			4				
4	29	土	1	生殖器系	精巣、精路、付属腺、卵巣、卵管、子宮、膣、外陰部、胎盤、乳腺の講義（器官発生含む）と実習（標準組織学 各論230～302頁）	解剖3・ 小路/菱川/ 安	ミーティング室
			2				
			3	内分泌系	下垂体、上皮小体、甲状腺、松果体、副腎、消化管の内分泌、パラグングリオンの講義（器官発生含む）と実習（標準組織学 各論303～338、346～377頁）		
			4				

内臓機能・体液系

責任者 相川忠臣
生理学第一 (内臓機能生理学)
内線：2142 E-mail: taikawa@net.

1. 教育目標・方針

人体の諸器官の正常機能を統合的に理解し、その基本的な知識の応用力を養う。救急医療の理解に不可欠な臨床生理学的な知識を身につける。

- 1) 内臓機能を学ぶ臓器の生理学を縦系、各血液成分の恒常性維持機構を学ぶ体液の生理学を横系として講義を行い、統合的理解をはかる。
- 2) 各授業項目の終了時に臓器不全を例にとった演習を行い、循環、呼吸の実習を体験することにより基本的な知識の応用力と臨床生理学的知識の獲得をはかる。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義項目

- 1) 循環とその調節
- 2) 自律神経系
- 3) 血液
- 4) 呼吸
- 5) 腎臓と体液
- 6) 体液の酸塩基平衡
- 7) 体温の調節
- 8) 内分泌、代謝
- 9) 消化器生理
- 10) 特別講義

実習項目

- 1) 心電図、肺機能
- 2) 心音、血圧、心エコー
- 3) 循環反射、消化器

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
Textbook of Medical Physiology (和訳本あり)	Guyton & Hall	Saunders	
Review of Medical Physiology (和訳本あり)	Ganong	Appleton & Lange	
標準生理学	本郷利憲 他編	医学書院	
現代の生理学	古河太郎、本田良行編	金原出版	

4. 評価法

実習は全て履修する事。実習レポート全て提出することを前提にして前後期2回の筆答試験で評価する。

5. 教員名

第一生理：相川忠臣

内臓機能・体液系（学士編入3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	14	金	1	循環1	教育目標、評価、血液循環の意義	生理1・相川	ミーティング室
4	21	金	1	循環2	心周期	生理1・相川	
4	28	金	1	循環3	心筋の性質、心筋収縮の力学	生理1・相川	
5	12	金	1	循環4	心拍出量の調節	生理1・相川	
5	19	金	1	循環5	血管系、血圧の決定要素	生理1・相川	
5	26	金	1	循環6	血管系の調節、血圧の調節	生理1・相川	
6	2	金	1	循環7	各臓器の循環、ショック	生理1・相川	
6	9	金	1	循環8	微小循環、浮腫	生理1・相川	
6	16	金	1	循環9	静脈系、平均充満圧、心不全	生理1・相川	
6	23	金	1	循環10	心電図	生理1・相川	
6	30	金	1	循環11	心電図	生理1・相川	
7	7	金	1	循環12	心電図、演習	生理1・相川	
7	14	金	1	血液1	赤血球、酸素と炭酸ガス輸送	生理1・相川	
7	21	金	1	血液2	鉄の代謝、演習	生理1・相川	

生 体 分 子 系

責任者 伊藤 敬
生体分子解析学 (生化学)
内線: 2160 E-mail: tito@net.

1. 教育目標・方針

生化学は生命現象を物質レベルの変化で説明しようとする学問である。すなわち生化学的知識とその思考法は生命現象の理解のみならず基礎と臨床を含めた医学全般を理解するためにも不可欠である。生体分子系の講義では、蛋白質、糖質、脂質などの生体分子(Biomolecule)の構造・機能・代謝について、生化学的な基本的事柄を学び、細胞、臓器さらには個体の機能や形態と関連させながら分子レベルで理解していくを学ぶ。これらの基礎知識の習得のみでなく、種々の疾患の病態や治療を分子レベルで理解しようとする姿勢を養うことが目標である。

教科書「レーニンジャーの新生化学」を用い、自主学習を主体としたチュートリアル形式で行う。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

次の項目について授業を行う。

- (1)酵素の構造と機能、(2)代謝総論、(3)糖質の代謝、(4)脂質の代謝、(5)ヌクレオチドの代謝
(6)アミノ酸の代謝、(7)ポルフィリンの代謝、(8)臓器に特有な生化学

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
レーニンジャーの新生化学 (3版)	山科郁男 監修	講談社	17,600 円
ヴォート生化学 (3版)	村松正實 監訳	東京化学同人	13,400 円
ストライヤー生化学(5版)	入村達郎ら 監訳	東京化学同人	13,400 円
ヒトの分子遺伝学	村松正實ら 監訳	MEDSI	11,500 円
Fundamentals of Biochemistry(3rd)	Voet & Voet	John Wiley & Sons	10,710円

4. 評価法

7月試験期間に行う筆答試験の成績により、合否の判定を行う。

5. 教員名

生化学 : 伊藤 敬
原研生化学 : 近藤宇史
原研生化学 : 井原義人
非常勤 : 中村三千男 (熟研生化学)、栗林 太 (熟研生化学)

生体分子系授業予定（学士編入3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	6	土	3	酵素の構造と機能	性質、作用機構、反応速度論、活性制御	生化学・伊藤	ミーティング室
5	13	土	3	代謝総論	全体像、局在と膜輸送、エネルギー論、代謝調節	生化学・伊藤	
5	20	土	3	糖質の代謝	解糖系、アセチルCoA生成、ペントースリン酸サイクル、単糖の変換	生化学・伊藤	
5	27	土	3	糖質の代謝	糖新生、解糖と糖新生の相互関係、グリコーゲンの代謝	生化学・伊藤	
6	3	土	3	脂質の代謝	脂肪酸と脂肪の代謝、不飽和脂肪酸とエイコサノイド、貯蔵脂質と膜脂質	熱研生化・栗林	
6	10	土	3	アミノ酸の代謝	蛋白質の代謝回転、アミノ酸の合成、分解、アミノ酸の誘導体と生理活性物質	生化学・伊藤	
6	17	土	3	補講	補講	生化学・伊藤	
6	24	土	3	核酸の代謝	ヌクレオチドの合成、ヌクレオチドの分解と再利用細胞間、細胞内情報伝達、生体酸化	熱研生化・中村	
7	1	土	3	糖鎖の生化学	糖タンパクと糖脂質の構造・機能	原研生化・井原	
7	8	土	3	臓器の生化学	細胞間、細胞内情報伝達、生体酸化	原研生化・近藤	
7	15	土	3	臓器の生化学	血液凝固と線溶系の生化学、ホルモンと増殖因子の生化学、血漿リポ蛋白質の動態	原研生化・近藤	

分子病態系

責任者 近藤 宇史
原研生化（分子情報制御学）
内線：2310 E-mail:kondo@net.

1. 教育目標・方針

生体成分の構造、機能、および代謝とその調節機構などの分子レベルでの理解はもとより、分子生物学的解析および理解が病態の把握に必須である疾患について、総論的知識と基本的考え方を修得することが目標である。
生体分子系など基礎医学で学んだ知識と考え方を疾患の成り立ちを理解することに結び付けることと同時に、医学の進歩の最先端を捉える力を養ってもらいたい。

2. 授業内容（講義・実習項目）

次の項目について講義を行う。

代謝疾患総論

1. 血糖調節の病態代謝
2. 血管病変の病態代謝
3. 血液凝固と線溶系の病態
4. 肥満の分子病態
5. 内分泌異常の分子病態
6. 老化の分子病態

先天性代謝異常症総論

1. 先天性代謝異常症の概念と発生機序
2. アミノ酸代謝異常
3. 脂質代謝異常
4. 糖質代謝異常
5. グライコミクスと分子病態

脳神経疾患の分子病態

1. 神経変性疾患の病態
2. 血液脳関門の分子病態

循環器疾患の分子病態

1. 心不全、心肥大の分子病態
2. 肺血栓塞栓症の分子病態

呼吸器疾患の分子病態

1. びまん性肺疾患の分子病態
2. 閉塞性肺疾患の分子病態

消化管疾患の分子病態

1. 炎症性腸疾患の分子病態
2. 消化管腫瘍の分子病態

3. 教科書、参考書等 ※必要に応じてプリントを配付

書名	著者	出版社	定価
最新・分子動脈硬化学	森崎信尋 他 編集	メディカルビュー社	8,400 円
標準分子医化学	藤田道也 他 編集	医学書院	10,500 円

4. 評価法

試験：前期末に前期の授業内容について100点満点の筆答試験を行い、60点以上を合格とする。

5. 教員名

第一薬理：田中 邦彦
第二内科：松瀬 厚人

ヒバクシャ医療センター：大津留 晶
原研生化：近藤 宇史、井原 義人

分子病態系授業予定（学士編入3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
7	24	月	1	脳神経疾患	血液脳関門およびタイトジャンクションの分子病態	第1薬理：田中	ミーティング室
			2	呼吸器疾患	気管支喘息の分子病態	第2内科：松瀬	附属病院11階第2内科医局
7	25	火	1	先天性代謝異常(1)	先天性アミノ酸代謝の異常	原研生化：井原	ミーティング室
			2	循環器疾患	心不全の分子病態 心肥大の分子病態	原研生化：近藤	ミーティング室
7	26	水	1	糖尿病	糖尿病の分子病態	原研生化：近藤	ミーティング室
			2	血管の老化	老化の分子生化学 高脂血症と動脈硬化	原研生化：近藤	ミーティング室
7	27	木	1	消化管	炎症性腸疾患の分子病態	ヒバクシャ医療センター：大津留	ミーティング室
			2	消化管	消化管間葉系腫瘍GISTの分子病態	ヒバクシャ医療センター：大津留	ミーティング室

分子遺伝系

責任者 新川 詔夫
原研遺伝（遺伝子解析学）
内線：2360 E-mail:

1. 教育目標・方針

他の基礎医学分野のみならず臨床医学分野を学ぶ上で重要である分子遺伝学の基礎知識をチュートリアル教育を通して学ぶ。これらの知識とは、将来の遺伝子医療に役立つものになる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

DNA・染色体・ゲノムの構造から機能、遺伝子実験法、疾患発症に関わる遺伝子病理、遺伝子治療、遺伝子解析に関する生命倫理まで講義する。つまり、遺伝子はどのような働きをするのか？どのように進化してきたのか？その変異はどのような結果を導くのか？遺伝子病治療の可能性は？などについて一貫した知識を身に付けるように工夫する。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
遺伝医学への招待	新川詔夫・阿部京子	南江堂	1,800 円
ヒトの分子遺伝学	村松正實 監修	メディカル・サイエンス・インターナショナル	12,000 円

4. 評価法

○期末試験：授業内容にそった筆答試験（100点）
以上の総計60点以上を合格とする。

5. 教員名

大学院「原研分子医療部門（原研遺伝）」 新川詔夫（教授）、吉浦孝一郎（助教授）、
三輪晋智（助手）、黒滝直弘（助手）
非常勤講師 塚元和弘 大学院医歯薬学総合研究科臨床薬学（教授）
" 木住野達也 先導生命科学研究支援センター（助教授）
" 近藤新二 先導生命科学研究支援センター（助手）

分子遺伝系授業予定（学士編入3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
7	24	月	3	総論	遺伝医学・分子遺伝学の特性	原遺・新川	原研遺伝医局
			4	形式遺伝学1	メンデル遺伝病1		
7	25	火	3	形式遺伝学2	メンデル遺伝病2	原遺・新川	
			4	細胞遺伝学	染色体の構造と機能		
7	26	水	3	非メンデル遺伝	多型・SNPと多因子疾患	原遺・吉浦	
			4	ポストゲノム遺伝学	生活習慣病の分子遺伝学		
7	27	木	3	ゲノム医学	ヒトゲノム計画、遺伝子単離	先導生科セ・木住野	
			4		遺伝子マッピング、遺伝子解析		
7	28	金	1	分子病理	遺伝子変異と疾患発症機構	原遺・三輪	
			2		遺伝子検査法の原理・応用		原遺・黒滝

医 と 社 会

責任者 小 澤 寛 樹
精神神経学 (精神病態制御学)
内線 : 2865 E-mail: ozawa07@net.

1. 教育目標・方針

体験実習を通して、医師の立場から（病院実習）、リハビリ、介護の面からまた看護の面から病院やリハビリ施設で病める人の立場に立った医療を実感する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

1) 実習

- (1) 病院体験実習
- (2) 病院実習2 リハビリテーション施設（介護の立場から）

2) 医学テーマ

- (1) 臓器移植・再生医療
- (2) 遺伝子診断・遺伝子治療
- (3) プライマリヘルスケア
- (4) 熱帯医学
- (5) 図書館の利用法
- (6) 感染症とは
- (7) 対人関係
- (8) 病気とこころ

3. 評価法

レポート、実習状況、出欠状況等を総合して評価する。

4. 詳細な授業計画は後日配付

動物性機能系

責任者 篠原一之
生理学第二（神経機能学）
内線：2150 E-mail: kazuyuki@net.

1. 教育目標・方針

人間の行動や心理現象の背景となる神経・筋・感覚系・統合的脳機能を扱う、いわゆる生理学のなかでも動物性機能と呼ばれる分野は、今や Neuroscience（神経科学）として遺伝子や分子レベルから人間の社会的行動までをカバーする学際的な大きな研究領域へと発展し、さらに新しい知見を生み出し続けている。その情報量は膨大なものであるが、教科の中では、神経科学に含まれる諸事象の中で医学生として知っておくべき内容を厳選し、基礎医学の基本的レベルから臨床医学の最新情報にかけて、人間の動物性機能を統合的システムとして理解できるように講義と実習を行う。学習にあたっては、医療科学の上で重要な神経科学的事象について、生理学的メカニズムの基本的骨格を論理的に説明できることを目標とする。

講義で使用したスライドはWebサイト (<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/physlgy2/>) にアップロードする（学内のみ閲覧可能）。また、授業内容の予定やまとめも上記サイトに載せるので、予習、復習に利用すること。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義：神経科学に含まれる事象について、細胞レベル、運動系の末梢から中枢まで、感覚系、統合的脳機能へと、そのメカニズムと全体における位置付けを重要視しながら、発展的に進めていく。項目によっては各専門家呼び、高度な最新の内容をわかりやすく講義してもらう。

実習：人体を用いた神経、筋の興奮現象の測定を体験し、観察される現象の機構を説明できるようにする。感覚系および中枢を介した反応についていくつかの課題を実行し、背景となる神経機構についての基本的性質を考察し理解する。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
NEUROSCIENCE: Exploring the Brain	Bear, M.F., Connors, B.W. and Paradiso, M.A.	Lippincott W & W	5,000 円
基本生理学	バーン、レヴィ (坂東、小山監訳)	西村書店	4,900 円
生理学テキスト	大地陸男 著	文光堂	4,800 円

上記書籍のほか、以下のようなインターネットサイトの参照も有効である。

Neuroscience for kids: <http://faculty.washington.edu/chudler/neurok.html>

Multimedia Neuroscience Education Project: Synaptic transmission:

<http://www.williams.edu/imput/synapse/pages/introduction.htm>

4. 評価法

原則として筆答試験による。（実習も考慮する。）

5. 教員名

生理学第二：篠原一之、藤村幸一、中川竜太、土居裕和

耳鼻咽喉科：高橋晴雄、隈上秀高

眼科：北岡隆

麻酔科：北條美能留

歯学部・口腔生理：岡田幸雄

非常勤講師：高橋克朗（長崎県立大村病院）

内匠 透（大阪バイオサイエンス研究所）

動物性機能系授業予定（学士編入3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	18	月	1	興奮	膜の興奮とその伝導	生理2 藤村	ミーティング室
			2	シナプス	神経筋接合	生理2 藤村	
			3	シナプス	シナプス形成	生理2 藤村	
			4	神経細胞死	神経細胞死・虚血性脳障害	生理2 藤村	
12	19	火	1	運動系	脊髄反射	生理2 藤村	
			2	運動系	小脳	生理2 藤村	
			3	運動・感覚	運動と感覚の連関	生理2 藤村	
			4	感覚系	痛覚	生理2 藤村	
1	12	金	1	感覚系	嗅覚	生理2 藤村	
1	19	金	1	感覚系	平衡感覚	生理2 藤村	
1	26	金	1	統合脳	発達に伴う脳の可塑性	生理2 藤村	

薬 理 系

責任者 丹羽 正美
薬理学第一 (神経薬理学)
内線：2180 E-mail:niwa@net.

1. 教育目標・方針

薬理学は、疾患の治療に直接にかかわる薬物の作用、効果、その作用の仕組み、応用の理論を講ずる教科である。臨床医学の現場では、薬物作用の本質は治療体系の構築に密接に関わっている。

薬理学では理論と思考力、応用力を重んずる。したがって、講義・実習においては現在臨床応用の中心になっている薬物はもとよりその薬物の原型をも重視する。これにより新薬の利害得失を批判し、創造的な薬物療法を考える能力をもつ医師や研究者の育成を目的とする。即ち薬理学の知識を有することで合理的かつ安全有効な薬物療法が可能となる。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

チュートリアルとして、基礎的な事象である薬理学総論、自律神経薬理を講じ、臓器機能別の薬物の作用並びに各病態に於ける応用理論について質疑・討論を中心に授業を行う。又一部項目については実習を課す。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of therapeutics	編者：J. G. Hardman L. E. Limbird	McGraw-Hill	11,900円
医科薬理学	編集：遠藤政夫ら	南山堂	12,000円
NEW 薬理学	編者：田中千賀子 加藤隆一	南江堂	8,800円
標準薬理学	編集：鹿取 信、海老原昭夫	医学書院	5,800円

4. 評価法

テストは筆答試験で行い、完全マスター60%および実習、レポートによって総合評価する。

5. 教員名

薬理学第一：丹羽、山下、田中
薬理学第二：上園、林
精神神経科：小澤

薬理系授業予定（学士編入3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	木	1	薬理学総論	総論・薬物受容体と細胞内情報伝達系	薬理 1・丹羽	ミーティング室
4	13	木	1	生理活性物質 1	ペプチド	薬理 1・丹羽	
4	20	木	1	生理活性物質 2	セロトニン・ヒスタミン	薬理 2・上園	
4	27	木	1	生理活性物質 3	アミノ酸	薬理 2・上園	
5	6	土	1	生理活性物質 4	カテコラミン	薬理 1・田中	
			2	末梢神経薬理学 1	アドレナリン作用薬	薬理 1・田中	
			4	末梢神経薬理学 2	抗アドレナリン薬	薬理 1・田中	
5	11	木	1	中枢神経薬理学 1	中枢興奮薬・抗痙攣薬	薬理 1・山下	
5	13	土	1	生理活性物質 5	アセチルコリン	薬理 2・上園	
			2	末梢神経薬理学 3	コリン薬・抗コリン薬	薬理 2・上園	
			4	末梢神経薬理学 4	自律神経節・神経筋作用薬	薬理 1・田中	
5	18	木	1	呼吸器薬理学	呼吸器作用薬	薬理 2・上園	
5	20	土	1	生理活性物質 6	エイコサノイド・サイトカイン	薬理 2・上園	
			2	内分泌代謝薬理学 3	抗炎症薬・解熱鎮痛薬	薬理 2・上園	
			4	中枢神経薬理学 2	抗精神病薬	精神神経・小澤	
5	25	木	1	中枢神経薬理学 3	抗不安薬・睡眠薬	薬理 1・山下	
5	27	土	1	中枢神経薬理学 4	抗パーキンソン病薬	薬理 1・山下	
			2	消化器薬理学	消化性潰瘍治療薬など	薬理 2・上園	
			4	中枢神経薬理学 4	抗うつ薬・抗躁薬	精神神経・小澤	
6	1	木	1	循環器薬理学 1	虚血性心疾患治療薬	薬理 1・丹羽	
6	3	土	1	内分泌代謝薬理学 1	糖尿病用薬	薬理 2・林	
			2	内分泌代謝薬理学 2	高脂血症・痛風(高尿酸血症)	薬理 2・林	
			4	循環器薬理学 2	抗凝固薬・抗血小板薬降圧薬	薬理 1・丹羽	

薬理系授業予定（学士編入3年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	8	木	1	循環器薬理学 3	心不全治療薬	薬理 1・丹羽	ミーティング室
6	10	土	1	内分泌代謝薬理学 3	内分泌代謝性疾患治療薬	薬理 2・林	
			2	腫瘍薬理学	化学療法薬・分子標的薬物など	薬理 1・田中	
			4	循環器薬理学 4	利尿薬	薬理 1・丹羽	
6	15	木	1	循環器薬理学 5	降圧薬	薬理 1・丹羽	
6	22	木	1	循環器薬理学 6	抗不整脈	薬理 1・丹羽	
			3	感染症薬理学 1	抗菌薬・抗生物質	薬理 1・丹羽	
			4	感染症薬理学 2	抗ウイルス薬	薬理 1・田中	
6	29	木	1	臨床薬理学 1	薬物の副作用・相互作用	薬理 1・丹羽	
			3	薬理学実習	薬理1,2教官		
			4				
7	6	木	1	応用薬理学	薬理遺伝学・遺伝子治療	薬理 1・田中	
			3	薬理学実習	薬理1,2教官		
			4				
7	13	木	1	臨床薬理学 2	医薬品開発・先端創薬	薬理 1・丹羽	
			3	薬理学実習	薬理1,2教官		
			4				
7	20	木	3	薬理学実習		薬理1,2教官	
			4				

感 染 系

責任者 片 峰 茂
感染分子（感染分子解析学）
内線：2210 E-mail:katamine@net.

1. 教育目標・方針

感染系では人体に感染し、種々の病的反応を引き起こす病原体及びそれを媒介する生物を対象とする。病原体とは細菌、スペロヘータ、リケッチア、マイコプラズマ、クラミジア、ウイルス、原虫、寄生虫、真菌など多岐に亘る。内容はこれら病原体の性質を理解するだけでなく、感染し発症に至る要因、病理、免疫反応、臨床、疫学、予防なども含まれる。更に地域社会、国際社会との交流の拡大や、人間生活環境、生活様式の変化により感染症も変貌しつつある。感染系では基礎的・臨床的知識の習得だけでなく、広い視野からの応用も含めた認識力・洞察力の養成をも目標とする。

特に単なる臨床医に必要な知識の習得だけでなく、医科学を研究する研究者としての素養を身につけ、問題解決力を養う事を重視する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

感染系の講義は、ウイルス学より、各々の専門家により分担して行われる。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
標準微生物学	山西、平松 編	医学書院	6,800 円
微生物感染学	光山 編	南山堂	4,800 円
戸田新細菌学	森、天児 編	南山堂	6,000 円
医科ウイルス学	大里 編	南江堂	8,800 円
図説人体寄生虫学	吉田 著	南山堂	9,270 円
NEW寄生虫学	小島 編	南江堂	7,500 円

4. 評価法

上記1に述べた目標が達成し得たか否かを、筆記試験・実習レポート等で総合的に評価する。

5. 教員名

ウイルス学

感染分子：○片峰 茂、森内良三

非常勤講師：坂口末廣（徳島大学）

※○印は各パートの責任者

感染系授業予定（学士編入3年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
1	15	月	1	B. ウイルス学	総論（形態・分類・複製）	感染分子・片峰	ミー テ ィ ン グ 室
			2		総論（戦略）		
			3	B. ウイルス学	総論（病態・予防・治療）	感染分子・片峰	
			4		各論（ミキソ、ポックス、パポバ、アデノ）		
1	22	月	1	B. ウイルス学	各論（パルボ、ヘルペス、ピコルナ、レオ）	感染分子・片峰	
			2		各論（パラミキソ、トガ、フラビ）		
			3	B. ウイルス学	各論（レトロ）	感染分子・森内	
			4		各論（肝炎）		
1	29	月	1	B. ウイルス学	各論（ウイロイド・プリオン）	非常勤・坂口	